

2025年度業務実績報告書

提出日 2026年2月8日

1. 職名・氏名 准教授 境 宏恵

2. 学位 学位 博士、専門分野 経済学、授与機関 京都大学、授与年月 2002.1

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 経営財務論（4単位 毎年開講） 2・3・4年生 （2025年度）	
② 内容・ねらい 事業を行う上で必要な資金の管理、投資プロジェクトや企業価値の評価方法、企業が長期資本を調達するための方法や配当政策、経営戦略と財務とのかかわりなどについて講義する。財務的意思決定が行われる仕組みに関する理論について基礎的な理解を深めるとともに、実際の企業の行動や財務政策の背景や影響について考えさせる。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 本年度はテキストを変更し、数値例や計算の要素を増やすことによって理解の促進を図った。要点理解や全体像把握のために役立つようにレジュメを改善した。また、実際の企業での事例などを挿入したりすることで、少しでも理解を深められるように努力した。課題として Excel を利用して実際に計算をする機会を設けたり、提出物にコメントをつけて返却したりするなど、工夫した。さらに、課題で実際の企業のデータを利用して作業をする課題を増やし、現実経済と理論との関係を意識させるように努力した。 また、福井県信用保証協会との連携による外部講師講演会を 11/17 に実施した。 【ゲストスピーカー 3人】	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 経営分析論（2単位 毎年開講） 3・4年生 （2025年度）	
② 内容・ねらい 企業が作成・公表する財務諸表を利用してさまざまな分析指標を算出できるようになること、また、その意味や評価基準についての理解を深めることを目標とする。データや資料の入手のしかたなども含め、実際に分析を行う際に役立つスキルを得ることを目指す。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 要点理解や全体像把握のために役立つようにレジュメを改善した。また、設例として具体的な数値をもとに考えさせたり、実際の企業での事例などを挿入したりすることで、少しでも理解を深められるように努力した。内容的には例年よりもポイントを絞ってやや簡素化することとなった。 レポートで実際の企業データをもとに各種比率の算定や全体的な評価を行うという課題を課した。講義中に質問を受け付けてその場でアドバイスしたり、メールでの質問も推奨したりするなど、できるだけ個別の質問を解決できるような環境作りに努めた。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 外書講読Ⅰ（2単位 毎年開講） 2・3・4年生 （2025年度）	
② 内容・ねらい 易しい英文で幅広いテーマを扱うことで、2年生が今後自らの専門分野を決定する上で役立つようにということを意識した。また、扱う英文が時事問題をテーマとしていたこともあり、英文の理解ももちろんであるが、背景にある考え方や事実の流れ等を補足解説して内容理解を深めることも意識して授業を行った。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 経済・経営的な内容や背景をより深く理解できるように、資料等を用いて補足説明を十分に	

行い、英文の理解だけにとどまらないように工夫をした。とくに、新聞記事等を活用し、経済に関する時事ニュースを理解するための予備知識を深めることに努力した。終盤は受講生からの要望を取り入れて、経営財務論や経営分析論入門的な読み物を素材としたので、今後の専門科目への道筋を付けた。

なお、今年度は受講生のグループ発表を中心として進める取り組みを行った。ペアワーク・グループワーク・発表の機会を設け、受講生相互の関わり合いを増やすように意識し、実際に受講生間のコミュニケーション促進の効果があつた。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
演習Ⅰ（4単位 毎年開講） 3年生 （2025年度）

② 内容・ねらい

企業が作成・公表する財務諸表を利用してさまざまな分析指標を算出できるようになること、また、その意味や評価基準についての理解を深めることを目標とする。データや資料の入手のしかたなども含め、実際に分析を行う際に役立つスキルを得ることを目指す。さらに、実際にレポートを作成する作業を通じて、企業に対する理解と関心を高める。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

前期はまず輪読を通して財務諸表自体に対する理解を深めることを目指した。また、後期は実際の企業や業界の財務諸表や各種資料をもとに経営分析を行ってレポート執筆を進めている。今年度の3年生は、外食産業やテーマパーク・遊園地産業の経営分析というテーマでゼミレポートを作成している。これらを通じて、実際の企業への関心や、実際の企業が作成する財務諸表とそれが果たす役割についての関心が高まった。

加えて、正規の授業時間以外の自主ゼミを行い、学生のPCスキルやデータ分析スキルの底上げを図った。

その他に、10月23日の北陸技術交流テクノフェア（於：福井県産業会館）へ学生を引率した。

【フィールドワーク等 1件】

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
演習Ⅱ（4単位 毎年開講） 4年生 （2025年度）

② 内容・ねらい

企業が作成・公表する財務諸表を利用してさまざまな分析指標を算出できるようになること、また、その意味や評価基準についての理解を深めることを目標とする。データや資料の入手のしかたなども含め、実際に分析を行う際に役立つスキルを得ることを目指す。さらに、実際にレポートを作成する作業を通じて、企業に対する理解と関心を高める。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

年間を通して卒論・ゼミ論の指導が中心としつつ、前期は経営分析のテキストの輪読も加えた。その結果、今年度は2名が卒論、10名がゼミ論を提出した。4年生は演習Ⅰの3年生の発表へのアドバイスを行うなど、学年を超えた交流や指導の機会を設けた。逆に、4年生は3年生の前で卒論・ゼミ論の発表会を行うことで、3年生の卒論への意識付けを図った。

加えて、正規の授業時間以外の自主ゼミを行い、学生のPCスキルやデータ分析スキルの底上げを図った。

その他に、10月23日の北陸技術交流テクノフェア（於：福井県産業会館）へ学生を引率した。

【フィールドワーク等 1件】

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
基礎演習（4単位 毎年開講） 2・3・4年生 （2020年度）

② 内容・ねらい

企業や業界について調べる際にはどこでどんな資料やデータを手に入れることができるのかを、実際に体験しながら学ぶ。「他の授業の課題やレポートを書く際に役立つような情報や資料の検索の仕方」、「初歩的なアカデミックライティングの力」、「将来の就職活動の際に、企業研

究・業界研究をする上で役立つような視点」を身につけることを目標とする。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 今年度はアパレル業界を分析対象とし、ファストファッション、都市型トレンドファッション、靴、紳士服、和装など、同じアパレル業界の中でも多様な業態を比較することで事業の特性や強みやリスクについて考えた。授業の進め方としては、できる限りペアワークやグループワークの機会を設けて人間関係を構築できるように配慮した。座学だけではなく、自分で動き回ってもらえるように課題の出し方を工夫した。 また、提出物にはできるだけコメントをつけて返し、双方向性をもった学習機会を増やすように工夫した。
(2)非常勤講師担当科目
① 担当科目名（単位数） 開講学校名
内容・ねらい
講義・演習・実験・実習運営上の工夫
本学における業務との関連性
(3)その他の教育活動

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
① 論文
② 著書
③ 学会報告等
④ その他の公表実績
(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動
学会での役職など
学会・分科会の開催運営
(3)研究会活動等
① その他の研究活動参加
② その活動による成果
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会 福井市特別職職員等倫理委員会委員（2014年1月より現在に至る）：市長の政治倫理にかかわる事項についての調査・審議 福井市退職手当審査会委員（2014年1月より現在に至る）：特別職職員等の違反行為の関係者等に対する事実関係の調査・審議 福井市長政治倫理審査会委員（2013年8月より現在に至る）：退職手当の支給制限等の処分についての調査・審議 敦賀港福井港港湾審議会委員（2020年9月より現在に至る）：港湾の開発及び管理運営を適正円滑に行うための意見聴取・審議 福井県都市計画審議会委員（2021年6月より現在に至る）：県の都市計画を決定に際してその内容について調査審議 福井県生活衛生営業審議会委員（2023年8月より現在に至る）：公衆浴場入浴料金の統制額の指定についての調査審議 福井県児童科学館外部評価委員会委員（2024年2月より現在に至る）：福井県児童科学館の運

営についての意見聴取・評価
② 国・地方公共団体等の調査受託等
③ (公益性の強い) NPO・NGO 法人への参加
④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内での) 企業等での活動
⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥ その他
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講
② 社会人・高校生向けの講座 短期ビジネス講座：11月29日「良い意思決定のためのデータ分析」(松岡孝恭・徳前元信・境宏恵)担当、および全4回の企画・運営
③ その他
(3)その他(個人の資格で参加している社会活動等)
なし

6. 大学運営への参画

(1)役職(副学長、部局長、学科長)
(2)委員会・チーム活動
ハラスメント委員会委員(2016年度より継続)
保健・学生相談センター運営会議委員(2025年度)
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など
なし